



2022年9月27日

各 位

上場会社名 株式会社ピククルスホールディングス
 代表者 代表取締役社長 影山 直司
 (コード番号 2935)
 問合せ先責任者 常務取締役経理財務部長 三品 徹
 (TEL 04-2931-0777)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年9月1日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2023年2月期通期連結業績予想数値の修正(2022年3月1日～2023年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,700	2,500	2,630	1,760	136.93
今回修正予想(B)	40,000	1,800	1,910	1,270	98.77
増減額(B-A)	△700	△700	△720	△490	
増減率(%)	△1.7	△28.0	△27.4	△27.9	
(ご参考)前期実績 (2022年2月期)	45,006	2,942	3,068	2,128	165.59

(注)当社は、2023年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用するため、当該基準に基づいた予測値となっております。

修正の理由

当第2四半期連結累計期間につきまして、売上高は新型コロナウイルス感染症の感染者数が減少し、巣ごもり需要が落ち着いたことによる反動減や、原材料価格の高騰により食料品の各品目が値上げされたことによる消費者の節約志向の強まりなどにより、当初の予想を下回る見込みとなりました。

利益については、天候は比較的順調に推移したことで原料野菜の価格は安定しましたが、減収となったことや、調味料、包装材などの原材料費、光熱費、物流費の高騰の影響を受けたことから、当初の予想を下回る見込みとなりました。
 当第2四半期連結累計期間の状況を踏まえて、改めて今後の業界動向や当社グループの売上及び利益の見込みなどを精査した結果、通期の業績予想を修正いたします。

※上記予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であります。従いまして、実際の業績は様々な要因により、上記予想とは異なることがあります。

以上